団体11位
大分県民体育大会　スキー競技

1月27日、九重森林公園スキー場(玖珠郡九重町)にて、大分県民体育大会スキー競技が行われました。暖冬の影響でコース変更もあり、団体11位という成績でした。残念ながら昨年より順位を落としてしまいましたが、各選手とも健闘してくれました。来シーズンも頑張ってください。

地元・津久見を力走!!
県内一周大分合同駅伝競走大会

2月18日から5日間にわたって「第61回県内一周大分合同駅伝競走大会」が開催されました。津久見市では、初日に上青江・垣篭バス停前から再スタートが行われ、津久見市チームの選手は、地元の大声援を背に受けながら、最後まで先頭に食らいつくような力走を見せました。ご声援ありがとうございました。

地域の魅力や良さを再発見
中学生・高校生地域リーダー育成研修

1月27日、災害からの復旧・復興をテーマに津久見市でのフィールドワークを通して、社会参画を促進するための「中学生・高校生地域リーダー育成研修」が実施されました。参加者は地域の方や大学の協力のもと、現場を知ることで、復旧・復興の苦労や普段からの関係の大切さなどを学び、地域の魅力や課題について考えました。

雪の中で初めての訓練
機能別女性消防団員研修会

1月26日、機能別女性消防団員を対象とした研修会が消防本部で行われました。雪が降る中、行われた研修会では、敬礼や回れ右、かしら中などの「訓練礼式」を通して、団員としての基礎動作を学んだあと、ホースを素早く伸ばす「ホース延長訓練」、初期消火の基本となる「消火器取扱い訓練」などに積極的に取り組みました。

活発な意見交換の場に
平成30年度地域懇談会

1月21日から2月19日までの間、市長が各地域におじゃまをし、ひざを交えながら意見交換を行う「地域懇談会」を各地区で行いました。市長が市政の取り組みや新庁舎建設について資料を基に説明し、住民の方々から率直なご意見を伺うなど、議論を深めました。

県内初!!
ドローン防除実証実験

津久見市認定農業者協議会主催により、柑橘園でのドローン防除実証実験を県内で初めて行いました。タンクには10リットル積むことができ、その量を約10分で散布します。使用可能な農薬が限られていますが、労力の軽減や風水害等により被災した箇所での活用が期待されます。

法務大臣から感謝状
石堂輝美さん

1月29日、人権擁護委員を12月末で退任された石堂輝美さんに法務大臣から感謝状が授与されました。多年にわたり国民の人権擁護と人権思想の普及高揚に尽くした人権擁護委員に対する法務大臣からの感謝状です。

ざぼん出荷始まる
津久見ざぼん部会

津久見産"ざぼん"の出荷が始まりました。この"ざぼん"は、別府市のざぼん漬けなどの加工会社、南光物産株式会社との契約栽培により、6年前から栽培が始まりました。今年は、約8トンの出荷が見込まれています。美味しいざぼん漬けになってまた戻ってきます。

TOPICS

ふるさと教育による中学生植樹

1月28日、四浦蔵谷地区にて、市内中学生による河津桜の苗木約80本の植樹がふるさと教育の一環として行われました。今回の植樹では、第一中学校の1・2年生164名と第二中学校の1・2年生75名がそれぞれ3人1組となり、地区の住民の方から、苗木の植え方やくい打ちの方法などを教わりながら、1本1本大切に植えていました。

今回植樹した河津桜は、成木になるまで長い年月がかかり、その頃には、中学生たちも立派な大人となり、津久見市を離れてしまう人もいるとは思いますが、花が咲く頃には、自分で植えた河津桜を見に津久見へ戻ってきて欲しいです。

花の苗を一緒に植えました
青江小、うばめ園・青葉会との交流会

青江小学校の5年生が「うばめ園」と青江の盛人クラブ「青葉会」のみなさんと花の苗を植える交流会を行いました。各グループで協力し、プランターの中に土を入れて、一つ一つ丁寧に花の苗を植えるなど、楽しい時間を過ごしました。

輝く海を眺めながら
大分県ふるさと百選ウォーキング大会

2月10日、大分県ウォーキング協会が主催する「大分県ふるさと百選ウォーキング大会」が津久見市で開催されました。この大会は、大分県内各地で開催されており、今回は津久見市民野球場をスタートし、「宇宙塵」が発見された網代島をめぐるコースを約180名の参加者が楽しく歩きました。

各団体が素晴らしい歌声を披露
第34回市民合唱祭

2月11日、市民会館で「第34回市民合唱祭」が開催されました。主に市内で活動する合唱団の計8団体が、たくさんの観客の前で素晴らしい歌声を披露しました。最後は全員で津久見市ふるさと讃歌「海と太陽の国」を合唱し、閉幕しました。

検討内容をまとめた報告書を提出
第一中学校・第二中学校統合検討委員会

1月23日付、第一中学校・第二中学校統合検討委員会での検討内容をまとめた「報告書」が、川野修平委員長から平山教育長へ提出されました。「報告書」には、生徒減少に伴う学校の小規模化を適正規模化(統合)することで、より一層充実した教育環境にするための根拠や方法等についてまとめています。

被災から生まれた絆
津久見高校、強歩大会で応援炊き出し

2月5日、津久見高校で2年ぶりの「強歩大会」が行われ、市内の日代地区を往復する海岸コースを懸命に強歩し、フィニッシュ後には、津久見高校PTAのみなさんや生徒による「炊き出し」が行われ、ご飯や豚汁が振る舞われました。この炊き出しには、昨年発生した「西日本豪雨災害」の時に愛媛県立三間高校に送った募金のお礼としていただいた、お米を利用するとともに、高校やPTAで検討し、市から災害救助用の炊飯袋(ハイゼックス)の提供と災害用移動式煮炊き釜を貸し出してもらい、「災害非常食炊き出し」訓練も合わせて行う目的がありました。

漢字検定・算数検定に挑戦!
市教育委員会主催「土曜寺子屋・つくみ塾」

津久見市教育委員会が主催する「土曜寺子屋・つくみ塾」に参加している市内の小学校3～6年生が、2月3日に市公民館で「日本漢字能力検定(漢字検定)」、2月16日に市民会館で「実用数学技能検定(算数検定)」を受検しました。子どもたちは、毎月地域のボランティアの皆さんに教わりながら学習してきた成果を発揮しようと、真剣なまなざしで机に向かっていました。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載できなかった写真や記事をご覧いただけます。